

リーディングプロジェクトの先進事例

荒川下流におけるタイムラインの取組状況について

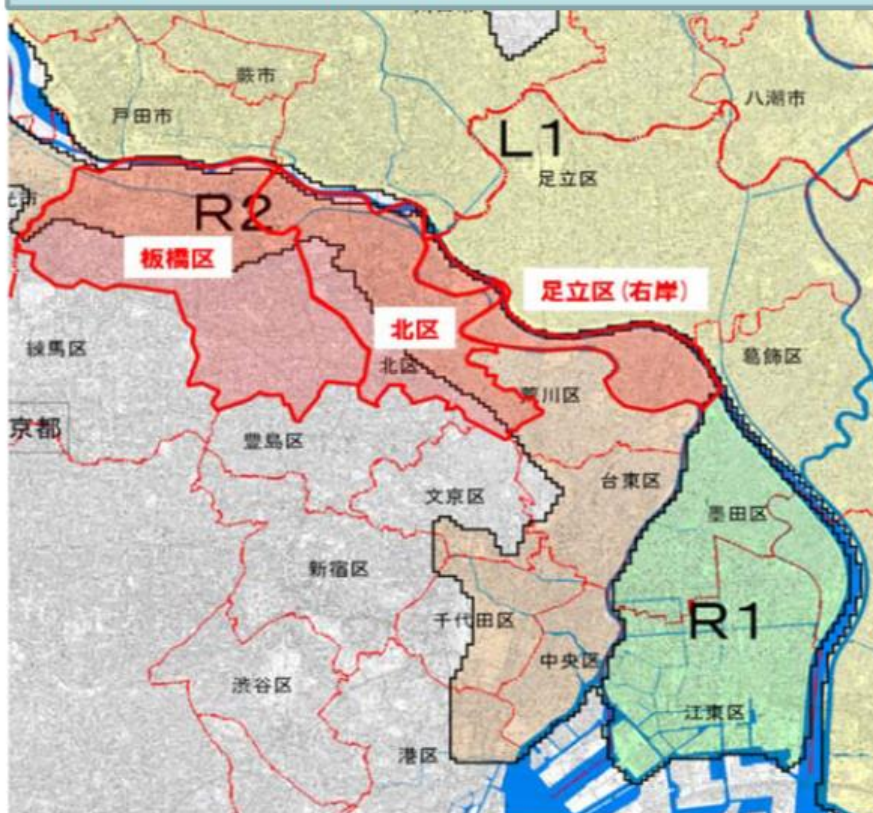
荒川下流タイムラインの検討経緯

資料2

- 平成26年8月から北区・板橋区・足立区をモデルエリアとしてタイムラインの検討を開始
- 検討会には、警察・消防はもとより、鉄道事業者や電気通信事業者など多様な主体が参画

【検討のモデルエリア】

荒川下流部の氾濫ブロックR2(右岸上流)
沿川の北区・板橋区・足立区



民間を含む**12機関19部局**が参画し、
昨年8月に検討会を発足

【参加機関】

東京都	首都圏新都市鉄道(株)
警視庁	東京電力(株)
東京消防庁	東日本電信電話(株)
北区	板橋区立高島平福祉園
板橋区	板橋区立特別養護老人いずみの苑
足立区	東京都立高島特別支援学校
東京地下鉄(株)	東京都立板橋特別支援学校
東日本旅客鉄道(株)	独立行政法人都市再生機構
東武鉄道(株)	気象庁東京管区气象台
京成電鉄(株)	東京国道事務所/荒川下流河川事務所

検討の過程で参加機関を拡充し、
現在は、**20機関37部局**が活発に議論

荒川下流タイムラインの検討経緯

◆ H26.8.21 荒川下流タイムライン検討会(第1回)

H26.12.3 荒川下流タイムライン検討会 WG
・対象メンバー・エリア・ハザードについて議論

◆ H26.12.18 荒川下流タイムライン検討会(第2回)

テーマ別のWGで検討

① 住民避難WG
【足立区:千住】

② 福祉施設WG
【板橋区:高島平】

③ 交通の運行状況WG
【北区:赤羽周辺】

4回 (H27.1.28、H27.2.9、H27.3.5、H27.4.20) 開催

H27.5.19 荒川下流タイムライン検討会 WG
・荒川下流タイムライン(試行案)について議論

◆ H27.5.25 荒川下流タイムライン検討会(第3回)

荒川下流タイムライン(試行案)の公表・運用開始

運用の中で改善点を見つけ、検討会で討議し、ブラッシュアップを図っていく予定

荒川下流タイムラインの概要

資料4-4

(数字:防災行動細目数)

時刻	主な対応行動	住民避難に着目したタイムライン 【足立区:千住】			避難行動要支援者施設に着目したタイムライン【板橋区:高島平】			交通の運用状況に着目したタイムライン【北区:赤羽周辺】		
		現行	今回の検討で追加された項目	引き続き検討が必要と思われる項目	現行	今回の検討で追加された項目	引き続き検討が必要と思われる項目	現行	今回の検討で追加された項目	引き続き検討が必要と思われる項目
-120H ↓ -96H ↓ -72H ↓ -48H ↓ -24H ↓ -12H ↓ -10H ↓ -5H ↓ -2H ↓ 0H (荒川下流で破堤) ↓ 1H (破堤後) ↓	平常時	5	0	0	5	0	0	5	0	0
	荒川下流TL適用の判断	1	5	0	1	5	0	1	5	0
	防災施設機能の確認開始	7	3	0	7	3	0	7	3	0
	応急対策資機材の準備開始	13	6	2	13	20	13	13	8	0
	台風の首都圏への接近にともなう流域全体の情報収集開始	5	17	0	5	19	13	5	18	0
	学校、福祉施設等の休校・休園の判断	7	24	1	5	26	0	4	24	0
	通常社会活動の最小化(休校・休園の措置) 災害対応モードへの強化	5	7	0	5	7	7	5	7	0
	要配慮者の避難開始 水防活動の開始	16	27	2	19	23	0	19	27	13
	一般住民の避難開始(避難勧告)	12	6	1	10	5	1	10	5	1
	住民等の安全確保行動の開始(避難指示)	13	5	1	13	5	1	13	5	1
	はん濫発生にともなう対策の実施	13	11	2	13	11	2	13	11	2
	はん濫拡大に対する対策の実施	33	2	0	32	2	0	32	2	0
		130	113	9	128	126	37	127	115	17
		252			291			259		

注)住民避難に着目したタイムライン及び交通の運行状況に着目したタイムラインには、別紙【広域避難】・別紙【局所的に堤防が低い箇所の水防活動】の防災行動細目があるが、集計表に含まれていない。

タイムラインで予め決めておくこと

検討フェーズ (時期)	何時(いつ)			NO	区分 【凡例】 ■黒字: 現行計画等 ■赤字: 今回の検討 ■青字: 引き続き検討 れる防災行動項目
	時刻	水位(洪水予報等)	気象情報・予警報		
	平常時			1	日常の維持管理
				2	
				3	
				4	
				5	
	-120H		台風が発生	6	荒川下流TL運用
				7	
				8	
				9	
				10	

何時(いつ)

タイムラインで予め決めておくこと

何時(いつ)				行動(何を)		当該の情報の発表又は行動の主体・の 情報を受け渡される関係者又は行動の協力者(〇)																				
検討 フェーズ (時期)	時刻	気象情報・ 予警報	NO	区分	防災行動項目(対応時期による分類)	細目(対応時期による分類)	広域避難																			
				【凡例】 黒字：現行計画等に記載のある防災行動項目 赤字：今回の検討で追加された防災行動項目 青字：引き続き検討が必要と思われる防災行動項目	【凡例】 黒字：現行計画等に記載のある防災行動項目 赤字：今回の検討で追加された防災行動項目 青字：引き続き検討が必要と思われる防災行動項目	【凡例】 黒字：現行計画等に記載のある防災行動項目 赤字：今回の検討で追加された防災行動項目 青字：引き続き検討が必要と思われる防災行動項目	関係者 市 県 国 道 県 道 市 道 町 道 村 道 河 川 水 道 火 災 防 護 機 関 地 方 公 道 地 方 交 通 機 関 地 方 交 																			

防災行動項目(対応時期による分類)	細目(対応時期による分類)
【凡例】 ■黒字: 現行計画等に記載のある防災行動項目 ■赤字: 今回の検討で追加された防災行動項目 ■青字: 引き続き検討が必要と思われる防災行動項目	【凡例】 ■黒字: 現行計画等に記載のある防災行動項目 ■赤字: 今回の検討で追加された防災行動項目 ■青字: 引き続き検討が必要と思われる防災行動項目
河川巡視(通常維持管理)	河川巡視
気象観測	気象観測
	気象情報の発表
水文(雨量・河川水位)観測	雨量観測
	河川水位観測
荒川下流TL適用の判断	荒川下流TL適用判断資料の準備
	座長の意見を踏まえ適用の判断
	関係者へ適用の伝達
台風情報および気象情報の発表・伝達、収集・確認	台風情報および気象情報の発表・伝達、収集・確認
今後の見通しに関する情報収集(以降、随時継続)	台風の予想進路と影響等について情報提供
	台風の予想進路と影響等を踏まえた出水状況の情報提供

行動
(何をするか)

タイムラインで予め決めておくこと

[illegible]

だれが(情報の発表又は行動の主体:◎
情報を伝達される関係者又は行動の協力者:○)

[illegible]

だれが
(主体・協力者)

引き続き検討が必要と思われる防災行動項目(荒川下流)

①地域への訪問者を減らす対策実施(概ね72～24時間前)

- ・来訪予定者への不要・不急の外出を控えるよう呼びかけ
- ・通過予定者への不要・不急の外出を控えるよう呼びかけ
- ・商業施設・駅構内売店等・地下街の営業中止の調整
- ・河川区域への立入禁止の呼びかけ(船舶関係者含む)等

②地域外への避難実施(概ね48～12時間前)

- ・広域避難の呼びかけ
- ・交通機関へ避難旅客輸送の要請

③鉄道の運行停止に係る手配・実施(概ね24～6時間前)

- ・運行停止に向けた準備開始
- ・地下鉄と地上鉄道等の運行継続及び停止に関する連携
- ・駅構内商業施設・地下街利用者への避難場所の広報や避難誘導
- ・気象情報、河川情報、避難に関する情報等を踏まえ、運行停止
- ・浸水想定区間(地上・地下)からの車両の退避等

④命を守る避難行動(概ね8～2時間前)

- ・地下街・駅構内の残留者がいないことの確認
- ・地下街・駅等の閉鎖・施錠、止水措置の完了
- ・浸水想定区域内の交通機関職員の避難
- ・浸水想定区域内の住民等への垂直避難の伝達等